

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状値の数	単位	目標値の数	本年度の実績値	本年度の	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
131091_品川区	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	学校支援ボランティアに係る新規人材および後継者不足	学校地域コーディネーターが個別に人材発掘	品川コミュニティ・スクール学校支援ボランティア養成講座の実施 ・実施回数等：全4回程度(各回約2時間) ・対象者：区内在住者等 ・講義内容(例)：「品川コミュニティ・スクールの概要および学校を取り巻く環境について」 ・目的：品川コミュニティ・スクールの制度や学校支援ボランティアの活動に関する講義およびボランティア体験等を実施し、学校支援ボランティアの裾野を広げるとともに、将来的に学校地域コーディネーターとなり得る人材を育てる。	学校支援ボランティア新規登録人数の増加	学校支援ボランティア新規登録人数	26	人	40			
131091_品川区	②学校と地域の課題	その他	品川コミュニティ・スクールの活動内容の地域への周知機会の増加	各学校支援地域本部ごとに活動を周知	品川コミュニティ・スクール周知用のカレンダー作成 ・希望する中学校区ごとに小・中学校の学校地域コーディネーターが連携し、カレンダーを作成する。 ・作成したカレンダーは品川コミュニティ・スクールの取組周知、地域との連携推進のために使用する。 ・作成過程における中学校区内の学校地域コーディネーター間等の情報共有等も目的とする。	品川コミュニティ・スクール周知用カレンダーの作成。	品川コミュニティ・スクール周知用カレンダーの作成数	13	冊	15			
131091_品川区	②学校と地域の課題	その他	品川コミュニティ・スクールを持続可能な取組としていくために品川CSの在り方を検討していく必要がある	品川コミュニティスクール推進会議の実施	品川コミュニティスクール推進会議の実施 ・学識経験者、文部科学省CSマイスター、学校管理職、学校地域コーディネーター等が参加し、品川コミュニティ・スクールの在り方や法定化に向けた検討を行う。	品川コミュニティ・スクール推進会議の実施により品川CSの在り方や法定化に向けた検討を行う。	品川コミュニティ・スクール推進会議の実施回数	1	回	1			
131091_品川区	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	各学校が地域との連携行事において、学校地域コーディネーターが企業・NPO・大学等との調整を行なう際にかかる負担が大きい	学校地域コーディネーターが個別に調整	品川コミュニティ・スクール応援協力名簿の作成 ・人材バンクを作成し、学校間で情報を共有することで、学校地域コーディネーターが企業・NPO・大学等との各種調整を円滑に行なうことができる体制づくりを行う。 ・周知しやすいように、名刺サイズのアクセスカードを配布する。	品川コミュニティ・スクール応援協力名簿の登録人数の増加。	品川コミュニティ・スクール応援協力名簿の登録人数	27	人	40			
131091_品川区	②学校と地域の課題	その他	教職員、保護者、児童生徒、地域住民等によるコミュニティスクールに関する情報共有の場の不足	学校等が個別に情報発信	品川コミュニティ・スクールDAYの実施 ・令和5年4月に施行されたこども基本法の理念を踏まえ、子どもの声を聞く機会をつくるため、校区教育協働委員に児童・生徒が参加する品川コミュニティ・スクールDAYを実施する。 ・「よりよい学校にしていくためには」といった趣旨のテーマのもと、熟議を通して、品川コミュニティ・スクールの充実度を実感、アピールするとともに、参加者が今後の地域と学校の在り方を検討する機会とする。	品川コミュニティ・スクールDAYの実施および報告書等の作成。	品川コミュニティ・スクールDAYの実施校。	46	校	46			